

▼ベロテック錠 [内]・▼ベロテックエロゾル [外]

【重要度】 【一般製剤名】 フェノテロール臭化水素酸塩 (U) fenoterol hydrobromide 【分類】 喘息治療・気管支拡張剤

【単位】 ▼2.5mg/錠, ▼エロゾル100 μ g/puff [1本約200吸入]

【常用量】 ■錠: 7.5mg/日 ■エロゾル: 1回2吸入 [効果が不十分な場合はさらに2吸入を限度として追加吸入できるが、それ以上の追加吸入を行うときは少なくとも6時間の間隔をおき1日4回まで]

【用法】 ■内服: 1日3回 ■吸入: 頓用

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【保存期CKD患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【特徴】 SABA。β2選択性がサルブタモールより低い。過度の使用により、不整脈、心停止等の重篤な副作用が発現する危険性があり、他のβ2刺激剤が無効の場合のみ選択する。

【主な副作用・毒性】 不整脈、動悸、振戦、頭痛、嘔気、低K血症など

【吸収】 鼻腔内投与で14%、肺吸入で9%が吸収される (Hochhaus G, et al: Pharm Res 9: 291-297,1992) 経口: ほぼ完全に吸収されるが、初回通過効果を受ける (11)

【F】 9~12% [吸入] (1)

【tmax】 3hr [吸入] (1) 2hr [po] (1)

【代謝】 肝で硫酸塩包合体となる (1,11)

【排泄】 尿中回収率19% [吸入, 48hrまで] (1) 尿中未変化体排泄率2%未満 (11) 代謝物 (不活性の硫酸塩包合体) として30~35%が尿中排泄 (11) 糞便中63% [吸入] 【CL】 0.5 μ g/mL投与で1299mL/min, 1.0 μ g/mL投与で1483mL/min, 2.0 μ g/mL投与で1924mL/minと非線形にCLが変化する (Warnke K, et al: Eur J Clin Pharmacol 43: 663-665,1992) 860mL/hr/kg (Hochhaus G, et al: Pharm Res 9: 291-297,1992)

【半減期】6hr [吸入] (1) 7hr [po] (1) 52min (Warnke K, et al: Eur J Clin Pharmacol 43: 663-665,1992) β相200min (Hochhaus G, et al: Pharm Res 9: 291-297,1992) 6~7hr (11)

【蛋白結合率】 40% (Hochhaus G, Mollmann H: Int J Clin Pharmacol Ther Toxicol 30: 342-362,1992) 45% (1)

【Vd】 49~85L/man、投与量が増すとVdが上昇する (Warnke K, et al: Eur J Clin Pharmacol 43: 663-665,1992) 1.9L/kg (Hochhaus G, et al: Pharm Res 9: 291-297,1992)

【MW】 303.36

【透析性】 ある程度透析されると思われるが効率的ではない (5) 資料なし (1)

【TDMのポイント】 TDMの対象にはならない 【O/W係数】 0.48 [1-オクタノール/水系, pH7] (1) 水相に移行 (11)

【更新日】 20180503

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。